垂直磁化型 MRAM における 電圧パルス時間幅の許容範囲が広い電圧書き込み方式

松本利映¹、 佐藤智幸^{1,2}、今村裕志¹ (1. 産総研、2. 千葉工大)

Voltage-driven switching with long tolerance of voltage-pulse duration in a perpendicular MRAM R. Matsumoto¹, T. Sato^{1,2}, and H. Imamura¹

(1. AIST, 2. Chiba Inst. Tech.)

背景

電圧書き込み $^{1-5)}$ は磁気ランダムアクセスメモリー(MRAM)の低消費電力書き込みを可能にする方式として注目を集めている. しかし、 1×10^{-3} 未満の低い書き込みエラー率(WER)が得られる電圧パルス時間幅(t_p)の許容範囲(便宜上、これを t_p の許容範囲と呼ぶ)は数百ピコセカンド程度と狭い. $^{4,5)}$ パルス電圧源ごとの t_p のばらつきや MRAM 素子間の磁化の歳差時間のばらつきを考慮すると、 t_p の許容範囲は広い方が好ましい.

結果

本研究 ⁶では、Fig. 1(a)に示す垂直磁化型 MRAM 素子において、tpの許容範囲が広い電 圧書き込み方式1)を理論的に検討した. Fig. 1 の計算では電圧パルスの印加前(後)に有効垂 直磁気異方性定数 $K_{\text{eff}}^{\text{(pre)}} = 70 \text{ kJ/m}^3$ (と $K_{\text{eff}}^{\text{(post)}}$ = 40 kJ/m³)で自由層磁化(m)を緩和させた. Fig. 1(b)は温度 0 K における tpの間の磁化ダイナ ミクスのタイプを tpの間の Keff(+V)とギルバー ト・ダンピング定数(α)によって分類したもの である. ダンピングトルクを利用することに よって、マジェンタとシアンの曲線の間の領 域において、tpの許容範囲が広い電圧書き込 み方式が可能である. 温度 300 K における、 WER の t_p の依存性の一例を Fig. 1(c)に示す. 10^{-3} を切る WER が 0.5 ns $\leq t_p \leq 10$ ns の広い範 囲で得られることがわかる。

謝辞

本研究の一部は革新的研究開発推進プログラム (ImPACT)と JSPS 科研費 JP16K17509 の助成を受けたものです.

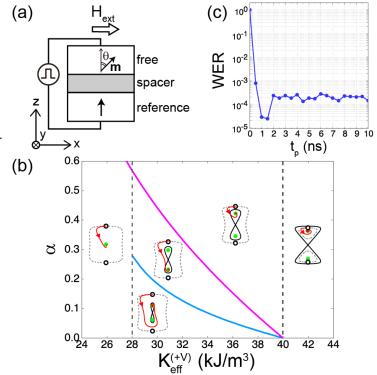


Fig. 1 (a) MRAM cell and definitions of (x, y, z) and θ . (b) Types of the magnetization dynamics. In each schematic illustration, red curve with triangle represents trajectory of magnetization (m) during t_p viewed from +x direction, and open and solid circles represent equilibrium directions of m at $K_{\text{eff}}^{(\text{pre})}$ and $K_{\text{eff}}^{(+V)}$. (c) t_p dependence of WER.

参考文献

1) Y. Shiota *et al.*, Nat. Mater., Vol. 11, p. 39 (2012). 2) S. Kanai *et al.*, Appl. Phys. Lett., Vol. 101, p. 122403 (2012). 3) C. Grezes *et al.*, Appl. Phys. Lett., Vol. 108, p. 012403 (2016). 4) Y. Shiota *et al.*, Appl. Phys. Express, Vol. 9, p. 013001 (2016). 5) T. Yamamoto *et al.*, J. Phys. D: Appl. Phys., Vol. 52, p. 164001 (2019). 6) R. Matsumoto *et al.*, Appl. Phys. Express, Vol. 12, p. 053003 (2019). 自由層飽和磁化は 1400 kA/m,印加外部磁界(H_{ext})は 31.83 kA/m (= 400 Oe). Fig.1(c)においてはさらに K_{eff} (+V) = 33 kJ/m³, α = 0.17,体積 140² π ×2 nm³ を仮定した.